

◆国宝◆

と かいもんじゅ
渡海文殊



国宝 渡海文殊(とかいもんじゅ)

当山のご本尊文殊菩薩は獅子に乗り4人の脇侍を伴う渡海文殊【5像全てが国宝】のお姿です。鎌倉時代・建仁3年(1203年)に大仏師・快慶によって造立されました。

渡海文殊は当山の本山である東大寺が、平安時代末期に平重衡によって焼打ち炎上させられ、大仏が再造立された際、大仏殿再建の象徴として、総責任者・重源上人の念持仏でもあった文殊様を、平安時代から東大寺の別格本山であった当山に造立し、東大寺総供養に法要する為であったと考えられています。(安倍文殊院 HP より)



本尊

国宝 騎獅菩薩文殊像

木彫極彩色の騎士像(高さ7尺・日本最大)で、右手に降魔の利剣を持ち左手に蓮華を持ち獅子に乗った渡海文殊像です。文殊様の胎内墨書銘と胎内から発見された造立願文(国宝)により、建仁3年(1203)の快慶の作と判明しています。(安倍文殊院 HP より)

このほかにも国宝である鎌倉時代のたくさんの像や、寺宝・文化財などが拝観できるそうです。

安倍寺の歴史はなんと紀元前156年に安倍氏の祖である大彦命が誕生(日本書紀に記載)してから始まるそうで、お寺の創建は645年(あの大化の改新!の年)とのこと。

今回の研修旅行では、ぜひ智慧の仏様にあやかって、子ども達の学業成就をお祈りしたいと思っています。